

市民活動 ニュース

MIE NON-PROFIT ORGANIZATION NEWS

2001年 12月号

平成12年11月25日発行

発行◆514-0004 津市栄町1丁目954三重県民サービスセンター4階 三重県市民活動センター
Tel.059-224-2644 Fax.059-224-2072 E-mail open@mienpo.net
県NPO室ホームページ◆<http://www.mienpo.net/>

ボランティア国際年



2001年はボランティア国際年です。



ボランティア国際年の
マスコットキャラクターです。

【NPO室から】

今月分の申請は**3団体**、今までに成立した**NPO法人は64団体**です。

今月成立した特定非営利活動法人(NPO法人)団体は5つです。NPO室では、法人申請の相談も受け付けています。書類の書き方、申請方法のわからない方、お気軽にご相談ください。

県内の市民活動 イベントのスケジュール

平成12年12月～平成13年3月に三重県内各地で開催される市民活動のイベントを事前にお知らせします。

ネットワークのよびかけ

今月のよびかけは5件です。体験発表、レンタルスペースへの出店、メンバー募集など様々な分野からのよびかけが集まっています。

助成金情報

市民活動を資金面からサポートする助成金情報です。活動内容に合わせて生かしてください。今月号は6件の情報を掲載しています。

NPOリレーインタビュー

やまざき よしたか

志摩地域高度情報化推進協議会事務局長 **山崎善隆**さん

志摩地域の高度情報化を市民活動グループとして推進している志摩地域高度情報化推進協議会。ぱっと見ただけでは難しそうな集まりですが、その中身は地域の防災や福祉、町おこしを進める道具として、コンピューターやインターネットを使っていこうという生活に根ざした集まりなのです。

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。

【NPO室より】

特定非営利活動法人（NPO法人）申請は3団体ありました。成立した団体は5団体です。引き続き、認証申請を受け付けています。

申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部生活課NPO室及び各県民局生活環境部に備え置いてあります。

●認証申請団体

(1) 名称、(2) 申請年月日、(3) 代表者の氏名、(4) 法人の事務所の所在地、(5) 縦覧期間、(6) 認証の種別、(7) 定款に記載された目的。

【71】

(1) 特定非営利活動法人 市民健康プール尾鷲トップスイミングクラブ
 (2) 平成12年10月13日
 (3) 山下雅史
 (4) 尾鷲市矢浜一丁目15番12号
 (5) 平成12年12月13日まで
 (6) 設立
 (7) この法人は、尾鷲市民の体力向上と健康の維持増進を図るため、水泳場の運営に関する事業を行い、もって健康的なまちづくりに寄与することを目的とする。

【72】

(1) 特定非営利活動法人 eye²
 (2) 平成12年10月13日
 (3) 湯浅しおり
 (4) 尾鷲市朝日町3番12号
 (5) 平成12年12月13日まで
 (6) 設立
 (7) この法人は、様々な援助を必要とする人々に対して、福祉や生活に関する事業を行い、もって全ての人がいつまでも自分らしく誇りと尊厳をもちながら安心して暮らしていくことのできる地域社会の創設に努め、福祉の向上及び社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする。

【73】

(1) 特定非営利活動法人 交通事故被害者支援センター
 (2) 平成12年10月31日
 (3) 市勢英勝
 (4) 安芸郡安濃町大字清水59番地5
 (5) 平成12年12月31日まで
 (6) 設立
 (7) この法人は、経済的、精神的に苦しむ交通事故被害者とその家族を支援するため、無料相談および損害賠償の手續方法等、具体的な指導・支援活動に関する事業を行い、もって地域社会の福祉増進に寄与することを目的とする。
 (平成12年10月13日から平成12年11月17日申請分)

●成立した特定非営利活動法人

(1) 名称、(2) 認証年月日、(3) 代表者の氏名、(4) 法人の事務所の所在地、(5) 定款に記載された目的、(6) 登記年月日

【60】

(1) 特定非営利活動法人 アーイー介護五穂の郷
 (2) 平成12年9月19日認証
 (3) 船橋恵子
 (4) 四日市市菅原町141番地の2
 (5) この法人は、少子、高齢化時代における子育て支援と高齢者を中心に、老人や障害を持った人達が普通の生活ができる社会の創設に努め、もって福祉の向上及び社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする。
 (6) 平成12年9月29日登記

【61】

(1) 特定非営利活動法人 フードファイター倶楽部
 (2) 平成12年10月10日認証

(3) 鎌田廣志
 (4) 四日市市尾平町3689番地
 (5) この法人は、健康運動を中心とした食の教育（以下「食育」という。）に関する事業を行い、健康に関する意識の向上、医療費削減、豊かな地域社会の実現を目指し、もって健康なまちづくりに寄与することを目的とする。
 (6) 平成12年10月18日登記

【62】

(1) 特定非営利活動法人 四日市市知的障害者育成会
 (2) 平成12年10月19日認証
 (3) 馬瀬静雄
 (4) 四日市市尾平町3丁目12番
 (5) この法人は、知的障害者の福祉の向上に関する事業を行い、もって社会全体の利益の増進に寄与することを目的とします。
 (6) 平成12年10月27日登記

【63】

(1) 特定非営利活動法人 小規模多機能サービスみさと
 (2) 平成12年10月19日認証
 (3) 西村勝利
 (4) 桑名市大字下深谷部5080番地25
 (5) この法人は、在宅で援助が必要な高齢者、障害者（児）やその家族、その他の手助けを必要とする人々に対して、住民参加と助け合いの精神のもとに、地域に根ざしたサービス活動を提供し、すべての人々が健やかに暮らせる地域社会づくりと福祉の増進に寄与することを目的とする。
 (6) 平成12年10月27日登記

【64】

(1) 特定非営利活動法人 ライフサポート
 (2) 平成12年10月19日認証
 (3) 外岡伸章
 (4) 津市高野尾町2996番地の5
 (5) この法人は、人々が健やかに安心して暮らせる社会を実現するため、主にコンピュータを媒体として市民に対して環境、福祉、社会教育、まちづくり、市民生活支援に関する事業を行い、もって公益の増進に寄与することを目的とする。
 (6) 平成12年11月1日登記
 (平成12年10月16日から平成12年11月16日登記完了届出分)

平成12年12月～平成13年3月に開催される 市民活動に関する 講演会やイベントです

子どもの心 受けとめていますか？

● ● ● ～登校拒否・不登校を問い直す

「親、教師、大人たちへ」

- とき／平成12年12月3日（日）開場PM12:30～
- ところ／伊勢ピア3階
- 参加費／前売1000円（当日1500円）、小中学生無料
- 内容／主催の子供未来会議（活動日／毎月第4日曜日PM2:00～PM4:00 伊勢市図書館）は不登校という事態を受けとめようと集まった会です。子どもたちの未来を真剣に考えるための集まりで、どなたでも参加できます。今回の講演会には少しでも多くの人と一緒に「登校拒否・不登校」ということを考たいと企画。講師はNHKラジオ「子供相談室」のアドバイザーなどで活躍中の内田良子さんです。なお、当日は講演会のほか、友情出演としてPM1:00から、劇団「おたまじゃくし」による人形劇も行います。
- 申込・問い合わせ先／伊勢志摩不登校を考える会（子供未来会議／浦田）Tel.0596-25-8185 Fax.0596-25-8257

元「(日本軍)慰安婦」達の現在をドキュメントした 映画『息づかい』上映と

季容^{イモル}洙さんの証言を聴く会

- とき／平成12年12月3日(日)証言PM2:00 映画PM2:50
- ところ／三重県人権センター
(津市一身田大古曾 Tel.059-233-5501)
- 協力費／一般1200円、中高生500円
- 内容／韓国映画『息づかい』は第2次世界大戦当時、日本軍により慰安婦にさせられた女性たちの現在を追ったドキュメンタリー。今回の企画では映画の上映と共に、自らも慰安婦だった過去を持ち、映画ではインタビューアとして、多くの女性たちと言葉を交わした季容洙さんに証言を行ってもらいます。
- 主催・問い合わせ先／映画『息づかい』上映実行委員会・三重
Tel.0593-52-4348

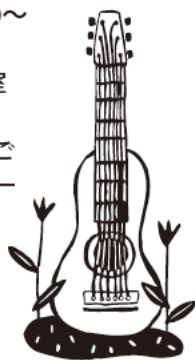
木好(もっこう)倶楽部のご案内

- とき／平成12年12月9日(土)、平成13年1月13日(土)、2月10日(土)いずれもPM1:00~PM5:00(3回のうち、都合の良い時にご参加ください)
- ところ／未定(津市内) ●参加費／無料
- 内容／木好(もっこう)倶楽部とはナニモノ?木好=もっこう=木工。そう、木のクラフトを作る倶楽部です。工作がすき、木で何かを作ってみたい、というあなた。一緒に木でクラフトを楽しみませんか?もちろん利用する木は国産材100%です。なお、このクラブは責任を持って道具を使える大人限定のクラブです。プロの養成を目指しているわけではありません。また、専門家による指導もありません。今回は保険などに主催者の方からは加入しません。安全管理には最大限、気を付けますが、ケガ・事故などには一切責任を負いません。
- 持ち物／工作に使う基本的な道具はお貸しすることもできます。
- 申込方法／会場や日程に変更の可能性がありますので、参加希望の方は事前にご連絡ください。
- 申込・問い合わせ先／514-0004 津市栄町1-954 三重県市民活動センター気付 私書箱23 木林(きりん)
E-mail kirin@bl.mmtr.or.jp
ホームページ http://www.bl.mmtr.or.jp/~kirin/

精神に疾患・ハンディのある人々 自立のためのオカリナ&ギターの調べ

はあぶ工房 Together

- とき／平成12年12月10日(日)PM1:30~
(ティータイムはPM12:30~)
- ところ／桑名市コミュニティプラザ・中会議室
- 参加費／協力券1000円
- 内容／飯田健男さんによるオカリナ演奏、「23こうせん」の小林さとるさんによるギター演奏。コンサートの収益金は自立センター設立基金となります。
- 主催・申込・問い合わせ先／
はあぶ工房 Together
Tel.0594-21-9561
- 共催／ワークルーム桑友共同作業所



チャリティー人権コンサート「残波大獅子太鼓」

- とき／平成12年12月14日(木)開場PM5:30 開演PM6:30

- ところ／松阪市文化会館(松阪市川井町)
- 参加費／一般3000円(高齢者・障害者・高校生2000円、小中学生1000円)全席自由、いずれも当日券は500円高です。
- 内容／沖縄県読谷村で結成された太鼓集団「残波大獅子太鼓」を迎えてのチャリティー人権コンサート。力強く叩き出す太鼓はかつて諸国に旅した琉球人たちの心意気を表現します。なお、当日は沖縄物産展とパネル展を同時開催します。
- 問い合わせ／松阪市東町157-3 ゆめふる21内
Tel.0598-50-0181
- 主催／特定非営利活動法人「ゆめ・であい・ふれあい」ネットワーク松阪
- 後援／松阪地方県民局、松阪市、松阪教育事務所、松阪市教育委員会

「行政&NPOスクランブルエッグ 市民活動プロデューサー養成講座」

~違いと出会うことで自ら気づき、
新たな価値を創造するツールをGETしよう~

- とき／平成12年12月16日~平成13年2月18日 全6回
- ところ／四日市市なや学習センター
- 参加費／全回通し20000円(部分参加1回4000円)
- 内容／市民活動をプロデュースできる人材は、行政セクターにもNPOセクターにも必要です。6回の講座すべてがワークショップによって構成される実践的講座です。

【プログラム】

- 第1回／12月16日(土)AM11:00~PM6:00
『会社ゲーム1日道場~ゲームで学ぶ次世代型マネジメント』
講師:村田元夫さん(ピー・エス・サポート代表)
- 第2回／12月17日(日)AM10:00~PM5:00
『インタビューと考現学 ~すぐに役立つコミュニケーションと編集の技術』
講師:平井雷太さん(セルフラーニング研究所所長)
- 第3回／1月20日(土)AM11:00~PM6:00
『ミッションと企画力(1)~情報生産技術としての未来デザイン技法』
ゲスト講師:清水義晴さん(えにし屋代表・地域づくりプロデューサー)
- 第4回／1月21日(日)AM10:00~PM5:00
『ミッションと企画力(2)~情報生産技術としての未来デザイン技法』
ゲスト講師:清水義晴さん
- 第5回／2月17日(土)AM11:00~PM6:00
『NPOの広報戦略~メディア活用術と情報編集力のスキルアップワーク』
ゲスト講師:加藤哲夫さん(せんだい・みやぎNPOセンター)
- 第6回／2月18日(日)AM10:00~PM5:00
『新しい経済とコミュニティの再生~情報ツールとしての地域通貨の可能性』
ゲスト講師:加藤哲夫さん
- 募集人数／計30人(行政職員15人、NPO15人)※全回受講できる方優先
- 申込方法／専用の申込用紙で事前に必ず申込みを。
- 申込・問い合わせ先／510-8001 四日市市天カ須賀4-9-19 寺子屋プロジェクト(担当/海山) Tel.0593-63-4990
Fax.0593-63-4989 E-mail terakoya@Asks.net

太陽生命ひまわり 厚生財団の助成事業

第1回中高年の健康体力づくり 実践教室

- とき／平成13年1月~3月までの3カ月間。毎週水・土曜のAM10:15~AM11:15予定 20回開講
- ところ／水曜日は名張市中央公民館リバーナホール予定、土曜日はウエストスポーツプール(名張市)
- 参加費／3カ月12,000円(保険1,000円含む)
- 内容／対象は現在治療をされていない人で、3カ月以内の健康診断結果に異常の無い健康な40歳以上の男女、運動不足気味の

方または運動を始めたい方。内容はストレッチ、有酸素運動(楽々エアロビクス)、水中運動、筋力トレーニングなどです。なお、教室でお手伝いいただける看護婦さんも募集しています

- 募集人数/20人
- 応募締切/12月11日(月)説明会は12月13日(水)
- 申込・問い合わせ先/永谷 Tel.&Fax.0595-61-0560、須山 Tel.&Fax.0595-52-4999
- 主催/健康体力づくり推進ネットワーク伊賀(NPO)

津市の女性グループが主催 第9回まほろばを開催します。

- とき/平成13年1月7日(日)、8日(祝)
- ところ/津リージョンプラザ
- 内容/『まほろば』は1993年に発足した津市在住女性グループの集まりです。毎年、2日間にわたって、展示部門、舞台発表、ワークショップによる活動の発表をしています。発足以来、津市から助成を受けていましたが、2001年を迎えるという時代の流れのなかで、自立したグループになりました。また、女性ばかりではなく、男性のグループも参加するという発展も見られた本年の取り組みです。とりわけ第9回まほろばの特徴は、内容にあります。有名人の講演に代わって1・女性ばかりで、暮らしを考えるシンポジウムをします。2・21世紀に生きる『女いろは文言』を公募しました。採用者の発表と文言集の作成をします。21世紀を生きる女性の目標を明確にしよと想い、真の人間平等を得るためには、個々の成長は欠かせないと考えた結果です。

【スケジュール】

7日(日)/PM1:00~4:30 展示・ワークショップ

8日(祝)/AM9:30~4:00

- ・展示…終日
- ・ワークショップ…AM10:00~正午
- ・全体会…PM12:30~PM4:00
- ・舞台発表…シンポジウム…ゴミ 『女いろは文言』の採用発表
- 問い合わせ先/第9回まほろば実行委員会 菅野照代 Tel.&Fax.059-228-1722

ネットワーク のよびかけ

かけはしたけし

梯剛之ピアノコンサート 7月に開催

オーケストラとの共演では三重県初演!

- とき/平成13年7月12日(木)
- ところ/三重県総合文化センター大ホール
- 協力券/2階席4000円、3階席2500円
- 内容/世界3大ピアノコンクールの「ロンドンコンクール」第2位、「ショパンコンクール」特別賞ワルシャワ市長賞に輝いた、世界にはばたく全盲の若きピアニスト、梯剛之&アンサンブル神戸による演奏会です。オーケストラのバックによるモーツァルトのコンチェルトは聞き逃さないチャンスです。福祉と文化を結びノーマライゼーションの社会実現にむけて歩むこの企画をあなたにお届けします。チケット取扱いはチケットぴあ、ファミリーマート、三重県総合文化センターチケットカウンター、津市民ネットワーク事務局、こもれびセンターにて、12月中旬より発売。チケット数が少ないので早めにお買い求めください。なお、2月にも三重県総合文化センターの主催による梯剛之のピアノリサイタルが催されます。こちらの詳細は三重県総合文化センターへお問い合わせください。

- 問い合わせ先/こもれびセンター Tel.059-234-9601 Fax.059-234-8554
- 主催/セントヨゼフ女子学園
- 協力/視覚障害者音楽・文化支援NPOこもれびセンター

「keep clean earth みんなで考えよう環境問題2」 体験発表者募集

環境問題に関心がありますか?大気、水、食物、ごみ、リサイクル、動物、植物、山、川、そして地球まで、21世紀につなぐ環境を一緒に考えてみませんか?皆さんの活動体験をお聞かせください。

体験発表・体験ワーク・展示グループ募集
『活動展示』…パネル、資料配布、作品展示など『体験発表』…環境問題に関する活動、啓発など『体験ワーク』…体験、発表、販売など参加無料。ただし準備・運搬・片付けは各グループでお願いします。

- 申込締切/12月10日
- とき/平成13年1月27日(土)受付AM10:00 開始AM10:30~PM3:00
- ところ/鈴鹿ベルシティ2階 イオンホール
- 申込・問い合わせ先/館 Tel.&Fax0595-45-2656 亀井 Tel.0593-85-4980 Fax.0593-85-1931 井上 Tel.0593-87-5762 Fax.0593-86-5087
- 主催/みんなで考えよう環境問題運営委員会、三重県ボランティア連絡協議会

プラザわたし レンタルスペース部門 出店グループ大募集

桑名市にある市民活動センター1階の「プラザわたし」では、レンタルスペース部門への出店グループを募集しています。「人と人とのふれあいの場所」であることを第一目的とし、自分たちの知恵や特技、ちょっとした善意などを自分の責任で持ちより、わいわいがやがや楽しめる場所づくりを目指します。

- 詳細/『営業時間』…AM10:00~PM5:00(この時間は情報の提供ができるスタッフが常駐)『定休日』…木曜日(レンタル部門入れ替え日)『使用料』…3000円(1週間)レンタル部門の店番を置くと1000円引『ローテーション』…1週間単位で最大2週間まで。金~水曜日が1単位です。
- 申込方法/ショップ会員登録料1000円(1年間)が必要です。プラザわたしにて申込を受け付けています。ただし、営利目的での出店はできません。
- 申込・問い合わせ先/511-0006 桑名市今北町53 市民活動センター プラザわたし Tel.0594-27-2700 Fax.0594-27-2733 E-mail info@watashi.gr.jp ホームページ <http://www.watashi.gr.jp/>

新しい津市福祉マップをつくろう

15年前にボランティアサークル「プラス・ワン」(スタート当初は津市福祉マップをつくる会)が、数えきれない程の喧嘩と分裂の危機と宴会を経て、津市福祉マップを発行しました。しかし、マップの中では時間が止ってしまったままです。

と言うのは、この15年の間にバリアフリーという言葉は一般化し、ハートビル法や、住みよい町づくりの要綱などが制定されました。一昨年からは、三重交通の市内路線に車イスのまま乗車できるノンステップバスが走りはじめました。このように車イス利用者などの障害者が外出できる環境も少しずつ整いはじめ、マップで紹介した場所

の多くは、車イスでも容易に行けるようになりました。
そこで今回、私、松田慎二は、アスト津の屋上から飛び降りる程の決意のもと、「15年ぶりに津市の福祉マップの改訂版を発行するのや!」と決意しました。障害のある無しにかかわらず、たくさんの人達に市内のハード・ソフト両面にわたるバリアフリー情報を提供しなければならないと思っています。

津をもっともっと住みやすい街にするために、一緒にやりましょう。

●問い合わせ先/津市岩田15-22 ボランティアサークル「プラス・ワン」代表 松田慎二 Tel&Fax.059-227-1617

私たちといっしょに地域文化を作りませんか。

人形劇団「どむならん」劇団員募集

私たちは、平成6年に結成した玉城町にあるプロの人形劇団です。劇団員5名で保育園、小学校を回って、年間200ステージ近くの公演をしています。それと共に、劇団の友の会の人たち(会員180名)と一緒に劇団のまつりや文化講演会、ユニークな人形劇の公演を企画したりして、地域文化の掘り起しをしています。

●その他/30才以下で、元気だ!やる気あるぞ!と思っている劇団員を募集しています。

●問い合わせ先/度会郡玉城町山神201 人形劇団どむならん(担当/山口) Tel.0596-58-7794

フリーマーケット情報

【フリーマーケットinシティーパークの予定】

●とき/毎月第1日曜日

12月3日(日)AM10:00~PM4:00(雨天時、翌週)

●ところ/四日市市民公園(四日市市安島1丁目)

●申込・問い合わせ先/三重県フリーマーケット協会事務局

Tel.0593-55-2939

●主催/フリーマーケットinシティーパーク実行委員会

【中勢フリーマーケット協会の開催予定】

●12月10日(日)、17日(日)いずれもAM9:30~PM3:00

鈴鹿ハンター横弁天山公園 会員1000円、一般1500円

※恒例の公園フリマ。人は平均的に流れてきます。

●申込方法/直接次の郵便振替口座に振込を。通信欄に希望ブース数、日付、場所を書いてください。

中勢フリーマーケット協会口座 00870-0-121921

●問い合わせ先/安芸郡河芸町大字中別保2434-5

中勢マーケット協会(若林都史子) Fax.059-245-2536

Tel.(携帯)090-7027-4334(平日PM4:00以降に)

●申込方法/直接次の郵便振替口座に振込を。通信欄に希望ブース数、日付、場所を書いてください。

中勢フリーマーケット協会口座 00870-0-121921

●問い合わせ先/安芸郡河芸町大字中別保2434-5

中勢マーケット協会(若林都史子) Fax.059-245-2536

Tel.(携帯)090-7027-4334(平日PM4:00以降に)

【ポルタひさいフリーマーケットの予定】

●とき/毎月第4日曜日

12月24日(日)AM10:00~PM3:00(雨天中止)

●ところ/近鉄・久居駅前ビル「ポルタひさい」西・南側歩道上

●参加費/1ブース500円

●申込・問い合わせ先/久居フリーマーケット連絡会(山口登)

Tel.059-252-2117 E-mail issniki@quartz.ocn.ne.jp

【第6回みえ県民文化祭グランドフィナーレ・フリーマーケット出店募集】

●とき/平成13年2月18日(日)AM10:00~PM4:00

●ところ/飯南郡飯南町横野 飯南町産業文化センター

●出店料/無料 約40ブース、先着順。

●問い合わせ先/飯南町教育委員会 Tel.059832-2300

助成金 ニュース

国際交流基金アジアセンター公募事業

●受付締切/平成12年12月1日(金)

●助成の目的/アジアセンターはアジア域内各層における対話と交流を通じて相互理解を促進すること、アジア地域が共通に抱える課題を解決するための国境を越えた共同作業を推進することを主目的に活動しています。

●助成の対象となる団体/下記の各国・地域のいずれかに所在する非営利団体(大学、研究所、図書館、資料館、美術館、博物館、非営利公益団体、NGO/NPOなど)とし、個人に対する助成は行いません。

(1)東アジア地域…韓国、中国、モンゴル

(2)東南アジア地域…インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス

(3)南アジア地域…インド、スリランカ、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、ブータン、モルジブ

(4)日本…国の機関及び特殊法人などの政府関係機関は対象になりません。ただし、学術研究グループなどは対象となります。

●助成の対象となる活動/アジアセンターの目的に資する国際的な共同作業。共同作業の形態として、共同研究・調査、ワークショップ、会議、研修、記録保存、活字・映像媒体による研究成果の発表・出版などが対象となります。特に重要と考えるのは以下の分野です。

(1)多様性の理解と共生に資する取組み

(例)東南アジアによる東南アジア地域研究振興プログラム、地域固有の価値観と調和した人権教育の研究、アジアの国家開発や経済成長にイスラム教が果たす役割を検証する国際シンポジウム。

(2)域内共通課題解決のための取組み

(例)環境教育のための教材開発に関するワークショップ、アジア太平洋地域における人権や移民に関する地域住民・政策決定者・学界を巻き込んだ政策協議、特定分野の共通課題解決のためにアジアの財団が協力関係構築を目指す会議。

(3)社会の平等と開放に資する取組み

(例)旧インドシナ諸国のジャーナリスト養成プログラム、アジアの女性の社会参画機会を促進するための会議、経済改革下にある中国・ベトナム・モンゴルの民法についての比較研究、法整備に関する政策決定者と法律家のセミナー。

(4)有形・無形の文化の保存、記録、公開に関する取組み

(例)熱帯気候における古文書保存に関するワークショップ、東南アジアの先住少数民族の口承文学・民話の記録、地域住民の研修を組み込んだ地域博物館設立へのパイロット事業。

(5)伝統文化を現代に生かすための取組み

(例)アジアの民族音楽教育に関する国際ワークショップ、伝統織物振興のための一般啓発プログラム、持続可能な手工芸品生産とフェアトレードに関する会議。

●対象事業の期間/平成13年4月~平成14年3月

●応募方法/申請のためのガイドラインは下記へ請求。

●問い合わせ先/国際交流基金アジアセンター知的交流課

107-0052 東京都港区赤坂2-17-22 赤坂ツインタワー1階

Tel.03-5562-3891 Fax.03-5562-3898

国際交流基金日米センター 一般公募助成事業 地域レベル・草の根レベルでの相互理解の推進

●受付締切/平成12年12月1日(金)必着

●助成の目的/日米両国の人々が、いわゆる親善交流とは異なり、共通の課題に対する取り組みを通じて、お互いに対する理解を深めコミュニケーションを拡大していくことに重点をおき、文化や社会の多様性に互いに直接ふれあい、各界各層でさらに質の高い対話が積み重ねられていくことを期待しています。

●助成の対象となる団体/日米いずれかの国にある非営利団体(大学、研究所、図書館、NPOなど)。日本の場合は法人格のない団体(任意団体)も対象になります。

●助成の対象となる活動/(1)地域活動…日米間の相互理解、グローバル

な課題についての理解促進を目的とし、広く市民を対象とした教育、セミナー、アウトリーチ(知識の普及)活動などを支援。また、一定の専門分野において共通の関心を持つ他の団体とのネットワークづくり、情報交換システムづくりも対象。(優先事業:一般市民を対象とした知識の普及、教育を通じた知識の普及)(2)交流事業...日米両国の団体や市民の間での情報交換や交流の状況が改善され、強化されるような交流事業を支援。特に、具体的問題の解決に向けた地域レベル、コミュニティレベルでの交流を重視します。このような交流には、専門とされる分野での共通関心事項に関しお互いの経験を共有する機会を与えるもの、日米両国が今日直面する国内問題や国際問題について話し合う機会を与えるものが含まれます。なお、交流事業は地域住民やコミュニティの積極的参加を基盤とするものが期待されます。(優先事業:青少年交流、NPO交流)

対象事業の期間 / 平成13年度事業
応募方法 / ガイドライン及び申請書は下記へ申し込んでください。また応募に先立ち当センターへ事前に相談されることを希望します。
問い合わせ先 / 国際交流基金日米センター事業第2課
107-6021 東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル20階
Tel.03-5562-3543 Fax.03-5562-3505
ホームページ http://www.jpff.go.jp/j/region_j/cgp_j/index.html

日米センターNPOフェローシップ

受付締切 / 平成12年12月11日(月)必着
事業の目的 / このプログラムは、日米間の架け橋になり国際的に活躍できる次世代の担い手(人材)を育成するとともに、日本の非営利セクターの基盤強化を図ることを目的として、日本の非営利セクターに従事している中堅層の方に米国のNPOでの中長期のマネジメント実務研修を行う機会を提供するものです。
応募資格 / (1)研修意欲「日米間の交流の架け橋となる人材の育成」及び「日本の非営利セクターの基盤強化」という本事業の目的を理解し、それに基づく研修を行う意欲があること。自分の活動分野だけでなく、非営利セクター全体に関心を持ち、その発展のために日本のNPOで活動を行う意欲があること。日本の非営利セクターの状況などに関して、米国の研修先の関係者などに、理解を促す意欲があること。
(2)日本国内のNPOの中堅スタッフ。原則として2年以上のNPO活動経験があること。
(3)心身ともに健康で、異文化社会で自立して生活ができること。(4)日本の非営利セクター全般の状況に関して、一定以上の知識を有すること。
(5)米国で研修を行う上で支障のない語学力を有すること。
(6)パソコンを使用できること。
(7)現在、団体に所属している場合、研修期間中所属元を不在にすることについて、所属長の了解を得られること。
(8)政治・宗教に直接に関わる活動を行うNPOのスタッフでないこと。

研修テーマ / NPOマネジメントに関するテーマ(例えば人材育成、資金基盤、情報基盤など)を自分の関心に応じて設定してください。実務研修に際してはそのテーマに関し十分な研修を積むこととともに、その背後にある社会的な条件や独創的な発想を生み出す環境を理解すること、並びに日米の非営利文化の相互理解を深めることを期待します。

研修先 / 米国東部(大西洋沿岸地域)の基盤組織あるいは仲介組織
研修期間 / 半年～1年。原則として平成13年9月～11月の間に研修を開始。採用予定人数 / 5人
応募方法 / 応募用紙は下記へ申請するほか、日米センターのホームページ(<http://www.jpff.go.jp/regionj/cgp-j>)からダウンロードできます。
問い合わせ先 / 特定非営利活動法人日本NPOセンター(担当 / 新田)
150-0021 東京都渋谷区恵比寿西2-11-11-104 Tel.03-5459-8877 Fax.03-5459-7747 E-mail enitta@jnpoc.ne.jp

三井海上文化財団

文化の国際交流活動の助成

受付締切 / 平成12年12月18日(金)必着
助成の対象となる団体 / 事業の実施主体がアマチュア団体であること。自治体の事業も対象になります。
助成の対象となる活動 / 文化の国際交流を目的とし、音楽、郷土芸能の分野において、例えば姉妹都市間の市民による文化交流企画など、地域における文化の振興に有意義であると認められるもの。
対象事業の期間 / 平成13年度中に行われるもの。
助成の額 / 事業企画に応じ、原則として100万円または50万円。
申込・問い合わせ先 / 三重県生活部文化課文化振興グループ

514-8570 津市広明町13番地 Tel.059-224-2673
Fax.059-224-2408

「がんばれNPO!」プロジェクト

受付締切 / 平成12年12月22日(金)消印有効
助成の対象となる団体 / 市民ボランティア運動を推進(1)およびそれらの活動を支援(2)するNPO法人(3)または公益法人。
(1)...特定のイベントを運営・実施するための「実行委員会」のように、年間を通して活動を行っていない団体の場合は、代表者が所属している団体(NPO法人または公益法人に限る)が応募してください。ただし、その団体が「実行委員会」にどのように関わっているのかを記載した文書(書式自由)を添付すること。
(2)...ボランティアおよびNPOの活動そのものをサポートする団体。ただし、助成対象事業の内容が下記の「募集分野」のいずれかに該当していること。
(3)...平成12年11月1日現在、特定非営利活動法人設立認証を受けている団体。但し、活動開始後1年以上であること(前身となる団体の活動を含む)。助成の対象となる活動 / 1、高齢者および障害者福祉の増進を図る活動 2、環境の保全を図る活動 3、青少年の育成を図る活動
対象事業の期間 / 平成13年4～9月
助成の額 / 助成対象事業に要する支出額の80%以内とし、200万円を上限度とします。

応募方法 / (1)郵送の場合...「応募書類郵送希望」と明記の上、団体名・代表者名・郵便番号・住所・電話番号を記載し、切手160円分を貼付した返信用封筒(角型2号)を同封して、平成12年12月8日(金)までに下記事務局宛に郵送してください。折り返し応募書類を送付します。
(2)インターネットの場合...下記から、応募書類がダウンロードできます(募集期間中のみ)。
(社)日本フィランソピー協会
<http://www.philanthropy.or.jp/activities/support/npoh.html>
(財)たばこ産業弘済会
<http://www.jtnet.ad.jp/WWW/JT/JTI/contribution/npoh.html>
2、応募書類
所定の応募書類のほか、添付書類の提出も必要ですので下記までお問い合わせください。

応募・問い合わせ先 / 社団法人 日本フィランソピー協会内「がんばれNPO!」プロジェクト事務局(担当 / 佐々木)
106-0041 東京都港区麻布台2-3-8 丸山ビル7階
Tel.03-3568-3241 Fax.03-3568-3245

(財)国際開発救援財団

平成13年度民間海外援助活動助成

受付期間 / 平成12年12月1日(金)～平成13年1月19日(金)必着
助成の目的 / 開発途上国の住民の生活向上のための援助活動を主たる目的とする民間団体(個人を含む)が行う援助事業に対し、助成金を交付し、その活動を促進し、開発途上国の自立、発展、および福祉の増進に寄与すること。
助成の対象となる団体 / 開発途上国の住民の生活向上のために援助事業を行おうとする団体で、次の要件を満たすもの。
1、開発途上国における援助事業を主たる事業目的としていること。
2、日本国内に住所または事務所を置き、責任の所在が明確であること。
3、助成対象事業を推進するうえで、十分な管理能力を有すると認められること。
助成の対象となる活動 / 1、農漁村開発。2、教育・人材育成。3、保健衛生・医療。4、生活環境改善。5、地域産業振興。6、環境保全。7、社会的弱者保護。8、災害復旧。9、上記に係わる調査または広報・啓発。

対象事業の期間 / 平成13年4月1日～平成14年3月31日
応募方法 / 募集要領の請求は、送付先(団体の場合は団体名、担当者名)を明記し、ハガキ、Fax、E-mailで下記まで。申請にあたっての相談も随時、受けつけています。
問い合わせ先 / (財)国際開発救援財団(担当 / 宮崎)
169-0073 東京都新宿区百人町1-17-8-2F
Tel.03-5386-0541 Fax.03-5386-0542
E-mail miyazaki@fidr.or.jp ホームページ <http://www.fidr.or.jp>

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人や、その他の法人などの情報を収集し、その活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。
<http://www.jfc.or.jp/>

▶▶▶▶▶ **がんばれネットワーク** ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうにつながっているのでしょうか。ワークショップのファシリテーターとして県内で活躍している東原達也さんがバトンを渡したのは、志摩地域の情報化をリードしているNPOの中心人物、山崎善隆さんです。

ネットでバーチャル防災訓練を

……志摩地域高度情報化推進協議会(Shima Useful and Regional Network Forum 以下SURF「サーフ」と略す)を立ち上げたのはいつですか?

1998年です。立ち上げのきっかけになったのは阿児町の海岸に光ファイバーケーブルが陸揚げされるということ。アメリカ、オーストラリア、アジアの各方面からファイバーケーブルが揚がるのなら、何かこの地域に役立つことができないか?というのが事の始まりです。

……陸揚げ地点ということは何か建物があるのですか?

陸揚局があります。ここに揚がったファイバーケーブルは大阪へ行くのですが、何もしないままでは大阪まで通じている高速道路はあるけど、インターチェンジがないから使えないという感じですから。

……例えば外国車なら陸揚げ地点で塗装のチェックや、ナンバープレートを付けるという物理的な仕事がありますよね。光ファイバーケーブルの場合、具体的にどんな産業が促進できるのでしょうか?

ここに陸揚げするということは、ここが一番、アメリカ・オーストラリアに近い場所ということです。近いというのはそれだけコストがかからないということ。それを上手に生かすためにも私たちがもっと勉強をして準備をしておくべきではないでしょうか。だからみんなで勉強して、この地域の情報化を高めようと思い、この会をつくりました。いろんな勉強会やフォーラムを開催したりもしてます。

志摩地域高度情報化推進協議会事務局長**山崎善隆**

さんに

聞く

……山崎さんが言い出したのですか?

いいえ、最初に言い出したのは志摩青年会議所OBの竹内千尋さんで、私は誘われたのです。だからといって青年会議所色が強いわけじゃありません。会員の業種も様々で、情報通信関係の仕事をしているのは2人だけです。私も仕事でパソコンを使っていますが、職種は食品パッケージの販売です。

……会員数は?

設立時は5人でしたが、今は12人に増えました。最近、きちんと整理したんです。というのも誰が会費を払っているのかが曖昧になってしまっていて(笑)。会員資格というのは特になくて、年会費12000円を払えば誰でも会員になります。

……パソコンに対する知識の差があるのでは?

詳しい人には詳しい人の、詳しくない人にはその人なりの仕事がありますから。でも、興味がないと意味がないでしょうね。パソコンと言えば情報ネットワークというのではなく、色々なことを複合的に考えるのがSURFのやり方です。例えばデジタル会議や独居老人の見守りのシステムを考えたり。そんな風にパソコンが使えれば、より役立つと思うんです。コンピューターは道具。それを使って何をするかは私たちが考えなくちゃいけないんです。

……具体的にどんな活動をしていますか?

まず、ホームページを開発し、そのなかに防災ネットワークという項目をつくりました。私は阪神・淡路大震災が起こった時、青年会議所のメンバーとして現地での炊き出しに参加したんです。この時、事前に青年会議所の繋がりの方から情報を得て現地に行ったにも関わらず、自分たちが得た情報と現地では違っている部分があり、タイムリーな情報を手に入れることの難しさを実感しました。それで、災害時にタイムリーな情報提供ができないかと考えてホームページで有事の際に何をすればいいかというマニュアルをつくらうと考えたんです。もちろん、その時に電気や電話が使えないかどうかという問題はあるでしょうけど、阪神・淡路大震災の時にもパソコン通信が随分役立つというのを聞きました。SURFのホームページを開いて、防災ネットワークのコーナーに入ると志摩郡の地図が出てきます。各町ごとに投稿欄を設けてあります。書き込みが防災についてなのか、それとも災害時のリアルタイムの記事なのかは色分けですぐにわかるようになっています。これを見てもらうことで町内外で、今この地区がどういう状況なのか把握してもらいたいというのが私たちの狙いです。現在、一通りの形にはなっていますが意見があればどんどん使いやすいように直していこうと思っています。

……防災という面に着目したのですか?

ええ。ホームページ以外の活動として、一昨年から、1月17日の阪神・淡路大震災が起こった日に防災訓練をインターネットを使ってやっています。今年は9月1日の災害の日にも訓練をさせていただきました。これまでは私たちSURFのメンバーと住民の方を対象に行っていたのですが、今回初めて役場、広域消防、病院の方にも参加いただきました。皆さん、非常に積極的に取り組んでいただきまして、終了後の反省会では実際に何か起こった時にはこうした方がいいとアイデアを出し合い、新しいシステムづくりを始めようという感じになりました。

全国マルチメディア祭2000inみえに参加

……今年、11月3日から5日まで三重県のような地域で「全国マルチメディア祭2000inみえ」が行われましたが、このイベントなどはSURFの活動と関連があるのではないですか?

そのなかの地域情報化フォーラムの一つ、阿児マルチメディアフォーラムのお手伝いをワーキンググループという形でさせていただきました。4、5日の2日間開催しましたが、初日はインターネット総合研究所の方にパネリストとして参加していただいたり、SURFの副会長である伊藤佳行がIT懇談会を開いたりしました。夜は夜で、夜なべ談義というのを行い、食事をしながら情報交換をしたんです。佐賀県や千葉県、長野県からも人が来てくれましたし、総勢60名

くらの懇親会になりました。5日はインターネットで「楽天市場」という有名なバーチャルショップを運営している小林本部長さんに来ていただいてお話してもらいました。

……セッティングはすべてSURFが行ったのですか？

一応、阿児町が開催したのですが、その手伝いをほぼ任せられたという感じです。講師の方との交渉は三重県と半分半分というところですよ。

……反響はいかがでしたか？

初日のフォーラムに200人程度の入場を見込んでいたのですが、それをちょっと越えましたからまあまあ思惑通りじゃなかったかなと思っ

ています。……地域情報化フォーラムは県内6市町村で行われていたから、その入場者はほぼ志摩地域の人々と考えて良いでしょうね。

一部、遠方の方も見えましたがね。各先生にこの地域の現状をお話いただいて、改めてここがこんなに素晴らしい所なんだというのを認識できた良いフォーラムになったと思います。

情報化を通じたまちづくり

……ホームページを拝見すると「旅館業にIT戦略」とありますが…？私自身、観光業を営んでいるわけではないので詳しいところまではありませんが、感じる限りではお客さんは不景気の影響も減少していますよね。そこで志摩郡をPRする必要があるのですが、テレビCMや膨大な量のパンフレットをつくるには費用的に無理があります。そこでホームページを活用できないかと考えているんです。鳥羽の旅館なのですが、実際にホームページをつくってお客さんの約80%をそこで受けている所もあるんです。大体、旅館というのは旅行代理店に集客してもらいます。夏場など旅行代理店が早々に部屋を押さえるのですが、予約が入っていない分はキャンセルが効く直前にキャンセルされてしまう場合もあるんです。そうすると本当にお客さんに来て欲しいシーズンに空き室が出来てしまいます。それではもったいないですから、自分でホームページを作ることでお客さんとの関係をダイレクトに行うんです。

……ホームページを利用することで自宅にいながら買い物ができたりというサービスがありますが、この場合はまったく逆で、ホームページを通して人に来てもらわないといけないでしょう？

最近の若い方はどこかに旅行する時、インターネットでまず調べてから行くというのが多いんです。ですから、ホームページがあるというのはそれだけ信頼度も高いという気がします。これらを含めて志摩地域の情報発信をどんどんできればいいなと思っ

ています。……市民活動として、地域の産業を支援していくのですね。

今の時代、あまり一人勝ってないと思うんです。町全体が良くなると、自分たちも良くなると感じています。志摩地域が活気に溢れていれば、自分たちの商売もそれと同時に動くと思う

コンピューターは道具。それを使って何をするかは私たちが考えなくちゃいけないんです。



SURFが行ったパソコン教室の様子です。

です。私の考え方は甘いかもしれませんが、何かを外から取り込んで、一つひとつが波及効果を及ぼしながら広がっていかないと。九州の湯布院など成功している例だと思いますね。あと、これはSURFとは別の活動なのですが「海洋深層水」を使った町おこしも考えています。志摩五町の住民が主になって「志摩海洋深層水フォーラム2000」というのを立ち上げ、大王沖で海水をくみ取って、分析をるところまで進んでいるんです。「海洋深層水」というのは太陽光が届かない深さ200メートル以下の海水のこと。綺麗でミネラルなどの栄養が豊富ということで食品製造や養殖、医療などに利用されています。日本では高知、富山、沖縄などで商品開発をしているんです。アピールにも効果的と言われていまして、観光と養生という面でアピールし、志摩郡に行くところの旅館・ホテルでも深層水のお風呂に入れる…という風になるといいですね。

……インターネット、パソコン系に偏るのではなく、それによって地域をどうするかという広い視点を持っているのですね。

情報化を通じたまちづくりというカッコつけすぎかもしれませんが、いろんな形で着目をあびる地域になれば、目立ちたいというのではなく、ここに来れば何かあるよということですよ。

……今後、高度情報化をどうやって地域に結びつけていこうと思われていますか？

光ファイバーケーブルを全国に送り込みたいですね。地域の家、1軒、1軒まで光ファイバーケーブルによって繋がっているファイバートゥザホーム(FTTH)がやりたいです。

……それには行政的な支援も必要でしょう？

ええ。今回、三重県の第3セクターの会社「ファイバークエーブルジャパン」ができましたので、そこの方々と協力していきたいと思っ

ています。これはビジネスではなく、情報の部分をやりとりできればということですよ。地域のことは当然、私たちの方がよく知っているわけですから。

……今後、SURFをNPO法人化する話があるそうですね。

近々、申請書類を提出する予定です。もともと、収益事業というのは一つもありませんし、自分たちの活動をもっと広めていきたいですから。それに何とかこの地域の情報化を進めて、情報化と言え

● 志摩地域高度情報化推進協議会(SURF)

住所/志摩郡阿児町鵜方3009-29

Tel.0599-43-6649

ホームページ <http://www.shima.org>

山崎善隆さんはこの人を **紹介** します。

玉川秀樹(たまがわひでき)さん

「話をするといろいろと触発されるんです」と山崎さんが推薦してくれたのは玉川秀樹さん。本業はお魚屋さんですが、ネパールに地元の雇用促進を目的としたホテルを建設しました。

編集後記

本格的な冬到来。これからどんどん寒くなっていきますが、活動の方は寒さに負けず、元気な声を届けてください。もちろん、ご意見、要望、情報もお待ちしています。

【訂正】先月号に掲載しました「センターバレスの津市市民活動センター活用のためのワークショップ」の日程が発行後、12月1日(金)に変更となりました。ご了承ください。

転載を希望される場合は必ずNPO室に連絡してください。

● R100 古紙100%、白色度70%の紙を使用しています。

SURFのホームページです。ぜひ一度、アクセスしてみてください。